

(様式第1号別紙1)

介護職員初任者研修課程カリキュラム表

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
(1) 職務の理解 (6時間)	①多様なサービスの理解	職務の理解と介護職の仕事内容や働く現場の理解 1 多様なサービスの理解 2 介護の業務	(1) - ①
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	3 キャリアパスと介護職員初任者研修 4 OJT・Off-JTを通じた学習の継続	(1) - ②
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	①人権と尊厳を支える介護	人権と尊厳の保持 1 人間の尊厳と自立 2 ノーマライゼーションの意義 3 個人の尊厳と法制度 人権擁護の基本視点 1 高齢者虐待 2 利用者の尊厳の保持	(2) - ①
	②自立に向けた介護	介護の基本視点 1 介護サービスの社会的役割 2 福祉理念と介護サービスの意義 3 サービス提供の基本視点 介護予防 1 あるべき主体的な生活 2 要介護状態の原因疾患 3 介護予防とは 4 介護予防活動の目標 5 介護予防活動を支える5つの考え方について	(2) - ②
(3) 介護の基本 (6時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	介護環境の特徴の理解 1 介護環境の理解 2 地域包括ケアの方向性 介護の専門性 1 専門職としての介護の視点 2 チームアプローチの実際 介護にかかわる職種 1 利用者を取り巻く多職種連携 2 多職種連携における役割分担	(3) - ①
	②介護職の職業倫理	介護サービスの公共性と職業倫理 1 介護サービスの公共性 2 介護職としての倫理の必要性 利用者・家族に対する責任 1 利用者・家族との関係 2 利用者の自己決定の尊重 社会に対する責任 1 倫理と規範 2 規定されている倫理 3 日本介護福祉会倫理綱領	(3) - ②
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	介護における安全の確保 1 サービス提供と安全管理体制 2 事故の分類と実態 事故予防安全対策	(3) - ③

		<ul style="list-style-type: none"> 1 リスクマネジメント 2 事故発生時の対応 感染対策のための基本的知識 1 感染の原因と経路 2 感染源の排除、感染経路の遮断 3 感染症の治療 4 スタンダード・プリコーション(標準予防策) 5 手洗い 6 手袋 7 うがい 8 マスク、エプロン 9 洗浄と消毒 10 環境整備 11 入浴 12 隔離 	
	④介護職の安全	<p>健康管理とストレスマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 介護職の健康管理 2 身体的疲労 <p>介護職の労働の権利と労働法</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 権利と労働法 2 介護職と労働法 3 訪問介護員の労働時間として認められる業務 	(3) - ④
(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	①介護保険制度	<p>介護保険制度創設の背景、目的および動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 介護保険制度創設の背景 2 介護保険制度創設までの経緯 3 介護保険制度施行後の状況 4 介護保険制度の目的等 <p>介護保険制度の仕組みの基本的理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 介護保険制度の基本的仕組み 2 保険給付とその種類 3 要介護・要支援の認定の手順 4 利用者負担 5 地域支援事業等 <p>制度を支える組織・団体の機能と役割、財源</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 制度を支える組織・団体 —全体の姿— 2 サービス提供事業者 3 介護支援専門員 4 介護サービス情報の公表 5 国民健康保険団体連合会その他の組織 6 介護保険事業計画 7 介護保険財政 <p>ケアマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 介護保険制度におけるケアマネジメントとは 2 居宅サービスに係るケアマネジメントのプロセス <p>医行為と介護</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 医行為と非医行為の範囲 2 医行為への介護者の対応 <p>医療と介護の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 疾病構造の変化と高齢化 2 介護サービスを利用する人から見た医療の現在 3 ケアを提供する人から見た在宅医療の現在 4 ケアにおける連携の特徴 5 在宅ケアでの連携の例 	(4) - ①

		6 連携の要はコミュニケーション 7 ケアにおける連携の工夫	
	②医療との連携とリハビリテーション	リハビリテーション職種との連携 1 リハビリテーションの理念と目的 2 リハビリテーション医療の過程	(4)－②
	③障害者総合支援制度およびその他制度	障害者福祉制度の理念 1 障害者の自立の社会参加 2 法制度の理念と障害の概念 障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 1 障害者総合支援法の概要 2 障害者総合支援法の仕組み 個人の権利を守る制度の概要 1 個人情報保護法 2 成年後見制度 3 日常生活自立支援事業	(4)－③
(5)介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	①介護におけるコミュニケーション	介護におけるコミュニケーションの技法 1 生活場面におけるコミュニケーション 2 相談援助技術の重要性 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 1 利用者の心理とコミュニケーション 2 家族とのコミュニケーション 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 1 言語・視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション 2 失語症・構音障害者とのコミュニケーション 3 認知症に応じたコミュニケーション技術	(5)－①
	②介護におけるチームのコミュニケーション	観察、記録、情報伝達 1 チームアプローチのルーツ 2 チームアプローチの効果と意義 3 介護職と記録 4 報告・連絡・相談 コミュニケーションをうながす環境 1 共感的理解とコミュニケーション 2 情報の共有とチーム内コミュニケーション	(5)－②
(6)老化の理解 (6時間)	①老化に伴うこころとからだの変化と日常	老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 1 感覚・知覚の変化 2 注意力の変化と反応の変化 3 記憶の変化 4 知能の変化 5 感情の変化 6 性格の変化 老化に伴うからだの変化と日常 1 加齢の生理学	(6)－①
	②高齢者と健康	高齢者の疾病と生活上の留意点 1 身体的・精神的機能の変化と病気、日常生活への影響 2 おもな症状とチェックポイント 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 1 生活習慣病とメタボリックシンドローム 2 高血圧と糖尿病 3 循環器系の病気(循環器障害) 4 呼吸器の病気 5 消化器の病気	(6)－②

		6 代謝・内分泌の病気 7 脳血管系の病気 8 運動器の病気 9 アレルギー・膠原病・免疫の病気 10 血液の病気 11 腎臓・泌尿器の病気 12 こころの病気 13 眼の病気 14 耳・鼻・喉の病気 15 皮膚の病気 16 歯・口腔・顎の病気 17 感染による病気 18 介護保険の特定疾病	
(7) 認知症の理解 (6時間)	① 認知症を取り巻く状況	認知症ケアの理念 1 認知症介護の基本原則 2 最新の認知症ケア	(7)－①
	② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	認知症の概念 1 認知症とはなにか 2 もの忘れと認知症との違い 3 認知症の初期症状 4 認知症の診察と診断 認知症の原因疾患とその病態 1 認知症の種類と原因 2 アルツハイマー型認知症 3 血管性認知症 4 レビー小体型認知症 5 前頭側頭型認知症 6 その他の認知症 原因疾患別のケアのポイントと健康管理 1 認知症の中核症状 2 認知症の行動・心理症状(BPSD) 3 中核症状の薬物療法 4 行動・心理症状の薬物療法	(7)－②
	③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 1 行動・心理症状の具体的対応 認知症の利用者への対応 1 日常生活支援の基本的対応 2 環境整備と基本的対応 3 心理学的援助方法論	(7)－③
	④ 家族への支援	認知症家族介護者の現状の理解 1 家族介護者の介護負担 2 認知症のケアとは 3 家族介護者のできること 認知症をもつ人の声、そして家族の声 1 「認知症と共に生きる私」の声を心を澄ませて聞いてください… 2 当事者や介護家族の思いに見る諸相 3 認知症との出会い、その支援について… 4 介護者をめぐる“3つの修羅” 5 家族の願い 6 在宅介護者への休息と癒しと、そして安全を… -レスパイトケアの充実を願って-	(7)－④

(8) 障害の理解 (3時間)	①障害の基礎的理解	障害の概念とICF 1 障害とは 2 障害の構造 3 障害の受容 障害者福祉の基本理念 1 ノーマライゼーションの概念 2 リハビリテーションとは 3 インクルージョンとは	(8)－①
	②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	身体障害 1 視覚障害 2 聴覚障害 3 平衡機能障害 4 音声障害・言語障害 5 咀嚼障害 6 肢体不自由 7 内部障害 知的障害 1 知的障害者の生活上の困難 2 知的障害者の心理と行動特徴 3 知的障害者の支援 精神障害 1 精神疾患 2 高次脳機能障害 3 発達障害 難病 1 難病とはどのような病気か 2 難病の特徴 3 おもな難病 4 難病患者の生活上の障害 5 難病患者の心理の実際 6 難病の治療について	(8)－②
	③家族の心理、かかわり支援の理解	家族への支援 1 障害の理解・障害の受容支援 2 障害の受容の理解	(8)－③
(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)	【ア 基本知識の学習 (10時間)】		
	①介護の基本的な考え方	介護の基本的な考え方 1 理論と法的根拠に基づく介護 2 基本的な介護技術の原則 3 介護保険制度下の介護サービス 重度化防止の視点 1 予防重視型システムの全体像 2 介護予防を重視する背景 3 介護予防プログラム	(9)－①
②介護に関するところのしくみの基礎的理解	高齢者の心理 1 加齢に伴う変化とその心理 2 高齢期のパーソナリティと適応 自己実現と生きがいづくり 1 高齢期の喪失体験 2 自己概念と生きがい 3 生きがいとはなにか 4 生きがいづくり支援 5 感情と意欲の基礎知識	(9)－②	

<p>③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解</p>	<p>人体の名称とはたらき 1 人体各部の名称 2 人体各部のはたらき 3 骨・関節・筋に関する基礎知識 運動動作に関する基礎知識 1 身体の動きの基本（基本動作） 2 ボディメカニクスの原則と介護への活用 神経系に関するからだのしくみ 1 中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 1 中枢神経系 2 末梢神経系 バイタルチェック 1 脈拍・心拍 2 血圧 3 体温 4 呼吸</p>	<p>(9)－③</p>
<p>【イ 生活支援技術の講義・演習（53 時間）】</p>		
<p>④ 生活と家事</p>	<p>家事と生活の理解 1 家事援助の必要性と目的 2 信頼関係の構築と秘密保持 3 利用者の価値観に合わせた生活 家事援助に関する基礎知識と生活支援 1 調理 2 掃除 3 洗濯 4 被服の補修</p>	<p>(9)－④</p>
<p>⑤ 快適な居住環境整備と介護</p>	<p>住環境整備 1 住宅の役割と機能 2 家庭内に多い事故 3 高齢者・障害者にとって快適な住まい 4 住宅の汚れ掃除 福祉用具の活用 1 福祉用具の活用にあたって 2 福祉用具とその活用方法</p>	<p>(9)－⑤</p>
<p>⑥ 整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>整容に関する基礎知識 1 整容の意味 2 整容行動の仕組み 衣類の着脱の介護 1 衣類の着脱のもつ意味 2 衣類の着脱介護</p>	<p>(9)－⑥</p>
<p>⑦ 移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>体位・姿勢の基礎知識 1 体位・姿勢のもつ意味 2 体位・姿勢介護 3 褥瘡の予防 移乗の介護 1 移乗のもつ意味 2 移乗の介護 車いすでの移動の介護 1 車いす移動のもつ意味 2 車いす移動の介護 移動の介護 1 移動のもつ意味 2 外出の介護（移動介助）</p>	<p>(9)－⑦</p>

		3 肢体不自由者の歩行介助 4 視覚障害者の歩行の介助	
⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	食事に関する基礎知識 1 食事をする意味 2 食事の生理的な仕組み 食事の介護 口腔ケアの支援技術 1 口腔ケアの意義 2 口腔の仕組みとはたらき 3 口腔ケアの基本 4 口腔ケアの実際	(9) - ⑧	
⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	入浴・清潔保持に関する基礎知識 1 入浴のもつ意味 2 清潔保持の意味 3 清潔保持のための行動の仕組み 入浴の介護 身体の清潔の介護 整容の支援技術 1 洗面の意義・効果	(9) - ⑨	
⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	排せつに関する基礎知識 1 排せつの介護のもつ意味 2 排せつの仕組み 排せつの介護	(9) - ⑩	
⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	睡眠に関する基礎知識 1 睡眠の意味 2 睡眠の仕組み 3 睡眠の状態と睡眠障害の原因把握 睡眠の介護 1 安眠への支援と安眠のための介護の工夫 2 寝具の整え方のもつ意味 3 寝具の整え方の介護	(9) - ⑪	
⑫ 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	終末期ケアに関する基礎知識 1 終末期に関する基礎知識 2 終末期のところとからだのしくみ —変化と対応— 終末期ケア 1 緩和ケア 2 家族へのケア 看取りの介護 1 看取り介護の意義・目的 2 看取りの目的 3 看取り介護の目標と介護従事者の基本的態度 4 介護の役割と医療職との連携	(9) - ⑫	
【ウ 生活支援技術演習 (12 時間)】			
⑬ 介護過程の基礎的理解	介護過程の基礎的理解 1 介護過程の目的・意義 2 介護過程の展開 3 介護過程とチームアプローチ 4 チームアプローチにおける介護職の位置づけ 介護過程の展開 1 認知機能の低下からおこる不安感を防止し、日常生活を取り戻した事例 2 なじみのヘルパーとのかかわりで「自立」につながった事例	(9) - ⑬	

	⑭総合生活支援技術演習	実習	(9) - ⑭
	こころとからだのしくみと生活支援技術にかかる確認評価	確認評価 (○×問題・実技チェック)	(9)
(10) 振り返り (4時間)	①振り返り	学習到達度の振り返り	(10) - ①
	②就業への備えと研修 修了後における継続的な研修	質の向上と人材育成 1 介護人材の将来見通し 2 国の取り組み 3 キャリアパスの全体像 事業所等における実例に学ぶ 1 専門職としての心構え 2 事業所等における OJT 3 継続した学習の必要性 4 介護保険制度の期待に応えるために	(10) - ②
修了評価	(講義及び演習)	評価基準 A…90点以上、B…80点から89点、 C…70点から79点、D…70点未満は不合格。 欠席及び修了評価が評価基準に満たない場合、補講・再評価を受けることができる(有料)	修了評価

- ※1 実施計画欄に、申請者が実施する研修内容を記載すること。
- ※2 実習を行う場合は、「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」内の「ウ 生活支援技術演習」内で、12時間以内とする。
- ※3 実習受入担当者による指導ではなく、研修担当講師による指導の一環として行われる施設の見学は、「(1) 職務の理解」及び「(10) 振り返り」で行うことができる。